

# Grammar

---

- Grammar
  - Chapter 1
    - **V・N・A なら**
    - **S って言っていましたよ**
    - **実は、～んです**
    - **命令形 imperative form**
      - Positive
      - Negative
    - **Vなければなりません・Vなきゃいけません**
    - **Adjectives & verbs to nouns**
    - **と・で・へ・から・まで + の**
  - Chapter 2
  - Chapter 3
  - Chapter 4
    - **Hearsay**
    - **てあります**
    - **Nは・が Vあげます**
    - **Nは・が Vてくれます**
    - **Nに Vてもらいます**
  - Chapter 5
    - **Volitional form**
    - **Nは Sみたい・のよう**
    - **V ように S**
    - **V ようにする**
    - **V ようになる**
    - **V ようと思っています**
    - **V そうです・な N**
    - **V・Nのために S**
    - **Nも**
    - **V安い・嫌い**
  - Chapter 6
  - Chapter 7
  - Chapter 8
    - **Vながら S**
  - Chapter 9

## Chapter 1

### (V・N・A) なら

Used to say **if ~** or **in case that ~**. The word before **なら** should be in the informal form. It originally comes from **ならば**.

- 山田さんが行くなら、私も行きます。

- 来週の日曜日なら、行けます。
- あの本が高いなら、買いません。

## Sって言って(い)ました(よ)

This is the same as **と 言っていました** but is used more often in speech. One must use the informal form of the verb in **S**. When surrounded by 「」, you can use the formal form.

- 山田さんも行くて、言っていました。
- 試合のチケットは、もう買ったって言っていました。
- テレビで、今度の週末は暑くないって言っていましたよ。
- アナウンサーは「あしたは寒いです」って言っていました。

We can also use **って言ってた**.

- アナウンサーは「あしたは寒いです」って言ってた。

## 実は、～んです

Used to say **to be honest, frankly,...**

- 実は、中国から知り合いが日本に来るんです。
- 実は、前から一度サッカー場に行ってみたかったんです。
- 実は、学生の時、ずっとサッカーをやっていたんです。

## 命令形 (imperative form)

### Positive

Do ~!

Used to issue a command. For **一段動詞** you can use **ろ** or **よ**. The former is used in speech, while the latter in writing.

動詞型	ルール	動詞	たとえば
五段	う + え	泳ぐ	泳げ
一段	ろ + る・よ	食べる	食べろ・食べよ
不規則動詞		する	しろ・せよ
		来る	こい

- 頑張れ
- しっかりしろ
- 逃げろ
- 食べよ
- こい

**って** or **っては** can be added to indicate that you're repeating the command.

- やめろって

- やめろってば

よ can be used to soften the command.

- 食べるよ

## Negative

Do not ~!

dictionary form + な

Used to issue a negative command. For this rule, we only have to attach な to the dictionary form. Here we can again add よ to soften the command. Women will rather use ないで.

- 負けるな
- 諦めるな
- 心配するな
- 泣くな

## Vなければなりません・Vなきゃいけません

Indicates that something must be done. As seen in みんなの日本語. Use the な form of a verb + きゃいけません or ければなりません. We can also use ~んです in conversation to decline an invitation.

- 土曜日に父の知り合いを迎えに行かなければなりません。
- 土曜日に父の知り合いを迎えに行かなきゃいけないんです。
- 土曜日に父の知り合いを迎えに行かなきゃ行けません。

## Adjectives & verbs to nouns

な-A + さ

い-Aな + さ

Vます

Both adjectives and verbs can be turned into nouns. For adjectives we just have to add さ. For verbs we just remove the ます.

- ながとも投手のプレーの素晴らしさに感動しました。
- ルールの簡単さが、サッカー人気の理由の一つです。
- 勉強が忙しいから、友達の誘いを断りました。

## と・で・へ・から・まで + の

S1 S2 particle S3 -> S2 particle の S3

You can use particles in combination with の to drop part (S1) of the sentence S2 in a following sentence S3. Note that you can not use への.

- 私はよくJFサッカー場で、試合を見ます。
  - JFサッカー場での試合は、年に15回ぐらいです。
- ながとも投手は、ファンからプレゼントをもらいました。

- ファンからのプレゼントは、Tシャツでした。
- ながとも投手は、ファンにメッセージを書きました。
  - ファンへのメッセージは、サイトで読めます。
- ~~ファンにのメッセージ~~

## Chapter 2

## Chapter 3

## Chapter 4

### Hearsay

S そうです

Used to say that you read/heard that **S**. **S** should be informal, **な** turns into **だ** for -adjectives. To show the source of the information, one can use **によると** or **の話でわ**.

- アニスさんの話でわ、トムさんはお酒を飲まないそうです。
  - I heard from Anice that Tom doesn't drink alcohol.
- 天気予報によると、あしたは寒いそうです。
  - I heard on the weather forecast that it'll be cold tomorrow.
- 彼女の趣味はゲームだそうさ。
  - I heard that her hobby is to game.

### てあります

Can be used to express that something has been done. One can only use it with **transitive** verbs. The **を** particle becomes **が**.

- 電気が消してありました。
- あっ、ケーキが切ってありますよ。
- ページに書いてあります。

### N(は・が) Vあげます

I'm doing **V** for **N** (as a favor)

Used to say I'm doing something **V** for someone **N** as a favor.

- 私は、妹におかしを買ってあげました。
  - I bought candy for my little sister.
- 同じグループの人は田中さんにプリントを届けてあげてください。
  - Someone from the same group as Tanaka, please bring him his copies.
- その本は、私が持っていますから、あとで貸してあげますよ。
  - Since I have that book, I'll lend it to you later.

### N(は・が) Vてくれます

**N** did **V** (especially for me)

Someone **N** does something **V** especially for you. It doesn't translate that way literally, but the feeling that something is done *especially for you* is present.

- アニスさんが家に呼んでくれました。
  - Anice called me to her home.
- 住所と電話番号を書いてくれました。
  - He wrote down his address and phone number.
- 市場に連れて行ってくれます。
  - He will take me to the marketplace.

## Nに Vてもらいます

I had **N** do **V** for me

You asked someone **N** to do something **V** especially for you.

- アニスさんに通訳をしてもらいました。
  - I had Anice translate for me.
- お兄さんのカメラで写真を撮ってもらいました。
  - I had the picture taken using my brother's camera.
- そして、その写真をメールで送ってもらいました。
  - Thus, I had the photo sent to me by email.

## Chapter 5

### Volitional form

The volitional form is used to express **let's** or **shall**. It has no past or negative form and is not applicable to all verbs. The formal form is the **ましょう**-form. The informal form is made by changing the **う** for **おう** or the **る** for **よう**.

動詞型	ルール	動詞	たとえば
五段	う + おう	泳ぐ	泳ごう
		いう	いおう
		かく	かこう
		とる	とろう
一段	る + よう	食べる	食べよう
不規則動詞		する	しよう
		来る	こよう

- 今度は車で行こう。
- 結婚しようよ。
- 村田さんはコーヒーを飲もうと言った。

## Nは Sみたい・のよう

Used to say that something **N** is like something else **S**. The part **S** before **みたい** should be informal. If **S** is a **な**-adjective, it loses the **な**.

- この問題は学生にはちょっと難しいみたいです。
- ここは昔学校だったみたいです。
- トムさんはアメリカへ行くみたいです。

Sometimes **まるで** is used to strengthen **みたい**.

- あの人はまるで田中先生みたいです。

**みたい** is also a **な**-adjective and can thus be used as a regular adjective.

- 天使みたいな顔です。

In more formal situations, **のよう** is often used to fulfill the same use case. These also need an informal part before it, and it can also be used as a **な**-adjective. The biggest difference is that **な**-adjectives before the **よう** keep their **な**.

- この酒は水のようにです。
- トムさんはアメリカへ行くようにです。
- 天使のような顔です。

## V ように S

Used to express **doing V such that S** or **do something V in such a way that S**. This is often used with potential verbs. The verb **V** should always be in the dictionary form or the **ない** form.

- 読めるように字をきれいに書きました。
  - I wrote my letters neatly such that they can be read.
- 後ろの席の人にも聞こえるように大きな声で話した。
  - Such that the people sitting in the bag could also hear, I spoke with a loud voice.
- 忘れないようにノートにメモしました。
  - I took notes such that I don't forget.
- 病気が治るように薬を飲んでください。
  - To heal your illness, drink this medicine please.
- どうか合格できますように。
  - I hope I can pass.

## V ようにする

Used to express **to try to V** or **to try to make it V**. The verb **V** should always be in the dictionary form or the **ない** form. **ようにしています** is also often used.

- 毎朝8時に来るようにしてください。
  - Try to come every morning at 8 please.
- 山川さんに会わないようにした。
  - I tried to not meet Yamakawa.
- できるだけ日本語で話すようにしています。
  - I'm trying to speak in Japanese as much as possible.

## V ようになる

Used to express **to reach the point that V** or **to become such that V**. V should be in the dictionary form.

- トムさんはひらがなが書けるようになりました。
  - Tom has reached the point that he can write hiragana.
- 日本語の新聞が読めるようになりましたか。
  - Did you reach the point that you can read a Japanese newspaper?
- いいえ、まだ読めません。速く読めるようになりたいです。
  - No, I can't read one yet. I want to reach that point quickly.
- 朝早く起きられるようになりました。
  - I came to wake up early.

Note that the **なる** can also be negated as **無くなる** to mean **it comes to a point where not V** or **it comes to a point where no longer V**.

- 高いビルが建ったので、窓から山が見えなくなりました。
  - Because they built a tall building, we can no longer see the mountain from our window.

Finally, we can also *suddenly reach the point that V*.

- うちの子は最近急に勉強するようになったんですよ。
  - My child has suddenly started studying recently.

## V (よ)うと思っています

Used to express that the speaker has the will to do something at the point of utterance. The verb **V** should be in the *volitional form*.

- 大学を卒業したら、日本に留学しようと思っています。
  - If I graduate at the university, I want to study abroad.
- 日本料理の店を始めようと思っています。
  - I want to open a Japanese food shop.
- アニメを作る試合に入ろうと思っています。
  - I want to enter an anime making competition.

## V そう(です・な N)

Used to express **it looks like V** or **it seems V**. The verb **V** should use the **ます**-stem.

- 次の試合は、いい成績が取れそうです。
  - It looks like they'll get a good result next match.
- 私にも読めそうな本。
  - It looks like a book I also would read.
- シンさんにいい本を貸してもらったので、今日中にできそうです。
  - Shin lend me a good book so it seems like I'll be able to do it today.
- 雨が降りそうです。
  - It seems like it will rain.

## (V・Nの) ため(に) S

Used to express that you're doing something **V** or **N** for some reason **S**. The verb **V** should be informal. The **に** can be elided when the verb doesn't directly follow **ため**.

- 日本人は会社のためによく働きます。
- 私は日本のことを知るため(に)日本へ行きます。
- 外国人のためのいい辞書がありません。

It can also be used to express a reason for something (= **because**).

- 今年は雪があまり降らないため(に)スキーができません。

## Nも

Used to emphasize the counter **N**.

- この学校には、外国人の先生が何人もいます。
- チャットは楽しいので、何時間もやります。

Can also be used to mean **even**.

- 毎日30分ぐらいチャットをしますが、昨日は3時間もしました。

## V(安い・憎い)

Used to express that something **V** is easy or hard to do. The verb **V** has to use the **ます**-stem.

- この漢字は覚えやすいです。
- このペンは書きやすいです。
- ドアは開き憎いです。

## Chapter 6

## Chapter 7

## Chapter 8

## Vながら S

Used to say that two actions happen at the same time. The verb **V** uses the **ます**-stem. The part **S** after the **ながら** is always the main action. Both actions are always exerted by the same person.

- 私は、歌を歌いながら、帰りました。
- 景色を見ながら、お弁当を食べました。
- 子どもが泣きながら歩いています。

Sometimes we can talk about periods. Action **S** takes places during the side action **V**.

- 私はアルバイトをしながら、大学で勉強しました。
- 山本さんは会社に 勤めながら、小説を書きました。



# Chapter 9

- -
- -
- -